

平成25年度自転車製品事故情報<消費者庁公表>の収集について
(環境・安全のための評価分析調査事業)

(一財) 自転車産業振興協会 技術研究所

■はじめに

当協会・技術研究所では、環境・安全のための評価分析調査事業の一環として、自転車の品質確保と品質改善に寄与するため、消費者庁が公表している自転車に関連する重大事故情報を収集したので、その概要を報告する。

■平成25年度事故情報

技術研究所では、消費者庁が公表した重大製品事故情報のうち、自転車関連情報については公表され次第、速報として技術研究所のHPに掲載して注意喚起を図っている。平成25年度自転車関連の重大製品事故情報として掲載した事例は25件であり、その内訳は、表1に示すとおりである。事故件数は前年度に比べて17件減少したが、製品別では自転車の事故情報は18件で前年度と同数であった。また、折りたたみ自転車及び電動アシスト自転車の事故情報は減少傾向にあった。事故情報の一覧は表2、表3に示す。

表1 自転車関連製品事故情報件数

製品名		自転車	折りたたみ自転車	電動アシスト自転車	幼児用座席	自転車用空気入れ	その他	合計
件数	24年度	18 (5)	9 (4)	10 (2)	2 (1)	1 (1)	2 (0)	42 (13)
	25年度	18 (4)	4 (3)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	25 (8)

() 内は製品起因が疑われる事故

消費者庁の重大製品事故情報は製造事業者・輸入事業者からの事故報告を受けて公表されるが、公表の際、事故情報の分析を行い事故が製品に起因して生じたものか否かを区別して行っている。事故が製品に起因していると疑われる場合は事業者名、機種・型式、事故の内容等を、それ以外のものは事故の概要のみを消費者庁のHP等で公表している。

自転車関連の重大製品事故25件のうち製品に起因していると疑われる事故は8件で前年度と同様に3分の1程度である。残りの17件は、製品起因か否かが特定できていないが、事故調査・原因分析を継続して行っているため、今後、原因等が特定される場合があり得る。

なお、平成20年度から平成24年度までの5年間に(独)製品評価技術基盤機構(NITE)に通知された自転車関連の事故情報をまとめた結果*において、事故原因区分で製品に起因する事故は、470件のうち162件(総件数493件であるが、そのうち23件は調査中)と34.

5%であり、消費者庁の事故情報の割合とほとんど変わらない。

※独立行政法人製品評価技術基盤機構：平成26年2月27日報道発表説明資料「自転車による製品事故の防止（注意喚起）」(<http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs140227.html>)

■製品ごとの報告内容〔事故内容・原因等は表2、表3を参照〕

○自転車

18件の情報があるが前年度とほぼ同数である。そのうち、製品起因が疑われる事例が4件であったが、いずれも走行中又は乗車中のチェーン破断、チューブ破裂、フロントフォーク破損、前輪外れであり、乗員の身体に重大な影響を及ぼす事例が報告されている。また、車輪ロックが疑われるもの(3件)や、スポーク折れ、原因が特定できない転倒等が報告されている。

○折りたたみ自転車

4件の情報があり前年度より5件減少した。そのうち製品起因が疑われる事例が3件であったが、いずれも走行中又は乗車中の折りたたみ部の破断、トップチューブ破断、折りたたみペダルの破損であり、乗員の身体に重大な影響を及ぼす事例が報告されている。

○電動アシスト自転車

2件の情報があり前年度より8件減少した。走行中の転倒とアシスト自転車用バッテリー充電中の火災であるが、原因は調査中である。

○自転車用幼児座席

1件の情報があり前年度より1件減少した。製品起因が疑われる事例として幼児用座席の足乗せ部の破損が報告されているが、原因の特定までは至っていない。

■社告について

平成25年度に公表された自転車関連の社告は8件である。内訳は、折りたたみ自転車のヒンジ部が2件、ブレーキが2件、その他は自転車、ハンドルバー、リヤキャリア、自転車用ヘルメットが各1件で、経済産業省及び各社のHPにより公開されている。

■おわりに

自転車製品事故情報を収集・整理し、それらの情報を分析した上で、必要に応じてJISの改正、技術的課題の解決、原因究明等に繋げていくことが必要であると考え。そのため、技術研究所では環境・安全のための評価分析調査事業の一環として、今後も自転車製品事故情報を継続して収集し、分析等を加えるとともに、必要に応じて製品事故事例が緊急性を要するもの、或いは消費者への波及が心配されるものの原因究明調査等を行い、消費者の安全確保と品質改善に寄与していく所存である。併せて、個々の製造・販売事業者よりの試験依頼、原因究明調査にも対応していくので活用をお願いしたい。

以上

表2 消費者庁公表自転車関連製品事故情報（その1）

No.	管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
1	A201200660	自転車用幼児座席	(株)昭和インダストリーズ(輸入事業者)	自転車で走行中、幼児の足が車輪に巻き込まれ、負傷した。調査の結果、当該製品の足乗せの支柱に亀裂が入っていたため、足乗せの変形を戻した際に亀裂が拡大し、使用中に繰り返される負荷により亀裂が進行して破断し、足乗せが外れて足が後車輪に巻き込まれたものと考えられるが、亀裂が入った原因の特定には至らなかった。	製品起因が疑われる事故[平成24年12月11日に製品起因か否かが特定できていない事故として公表]
2	A201201076	自転車		当該製品で走行中、歩道の段差にぶつかった際、ハンドルポストに顔を殴りし負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
3	A201300047	自転車		当該自転車で走行中、前輪がロックし転倒、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
4	A201300064	自転車		当該製品で走行中、前輪がロックし転倒、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
5	A201300107	折りたたみ自転車	(株)エヌビーエス(輸入事業者)	当該製品に乗車中、当該製品の折りたたみ部分が破断し、転倒、負傷した。	製品起因が疑われる事故[平成25年5月10日よりリコール実施]
6	A201300124	自転車		当該製品で走行中、車道から歩道に上がるためにハンドルを引き上げたところ、前輪が外れ、転倒、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
7	A201300133	自転車		幼児(4歳)が当該製品に乗車し、幼児(2歳)が当該製品につかまった状態で漕いだところ、幼児(2歳)が当該製品のチェーンとギヤの間に左手中指を挟み負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
8	A201300134	折りたたみ自転車		当該製品で走行中、前輪がロックし転倒、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
9	A201300140	自転車	ホダカ(株)(輸入事業者)	当該製品で上り坂を走行中、チェーンが破断し転倒し負傷した。	製品起因が疑われる事故
10	A201300163	自転車	(株)エンドウ商事(輸入事業者)	当該製品で走行中、後輪のチューブが破裂して転倒し、負傷した。	製品起因が疑われる事故
11	A201300164	自転車		当該製品で走行中、チェーンが外れて転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
12	A201300248	折りたたみ自転車	ピース(株)(輸入事業者)	当該製品で走行中、トップチューブ(本体フレーム)が破断し、転倒、負傷した。	製品起因が疑われる事故
13	A201300265	自転車		当該製品で走行中、前輪がロックして転倒、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
14	A201300340	電動アシスト自転車用リチウムイオンバッテリー		充電器に当該製品を接続して外出したところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生。	製品起因か否かが特定できていない事故
15	A201300354	自転車(フレーム)		当該製品で走行中、フロントフォークが破損し転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故

表3 消費者庁公表自転車関連製品事故情報（その2）

No.	管理番号	製品名	事業者名	事故内容	備考
16	A201300409	電動アシスト自転車		当該製品で走行中、転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
17	A201300474	自転車		当該製品で走行中、チェーンが外れて転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
18	A201300539	自転車		当該製品で走行中、ブレーキをかけたところ転倒し、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
19	A201300543	自転車		当該製品で走行中、転倒し左手首を負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
20	A201300590	自転車	トレック・ジャパン(株)(輸入事業者)	当該製品に乗車中、当該製品のフロントフォークが折れて転倒し、負傷した。	製品起因が疑われる事故
21	A201300633	折りたたみ自転車	(株)モービック(輸入事業者)	当該製品で上り坂を立ちこぎ走行中、折りたたみペダルが破損し、負傷した。	製品起因が疑われる事故
22	A201300645	自転車		当該製品で走行中、転倒し負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
23	A201300680	自転車		当該製品で走行中、当該製品の前輪がロックして転倒し、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故
24	A201300825	自転車	トレック・ジャパン(株)(輸入事業者)	当該製品に乗車中、当該製品が破損し、前輪が外れ、その際転倒して負傷した。	製品起因が疑われる事故
25	A201300862	自転車		当該製品で走行中、前輪スポークが折れて転倒し、負傷した。	製品起因か否かが特定できていない事故